

平成29年度 TOHOKUデザイン創造・活用支援事業 おいしい東北パッケージデザイン2017

事業の目的

デザインの活用による商材の販売促進・ブランド化を推進し、知的財産としてのデザインへの意識啓発および制度普及を図る

東北地域には、優れた技術力や高い品質を備えた商品、およびそれを生み出す企業が多数存在する。しかしながら、デザインによる商材の差別化・高付加価値化を意識し、実践できている企業等は少なく、商材の魅力をより強く内外に発信するためには、パッケージ等におけるデザインの創造・活用が非常に有効である。加えて、知的財産として認識し、権利として保護することも、デザインを活用していく上で重要である。本事業では、デザインの総合的な創造・活用支援体制を構築。東日本大震災から6年が経過し、新事業や販路開拓にチャレンジする東北地域の企業による商品のブランド化や販売促進をデザインの側面から支援する。また展示会やフォーラム等を開催することによって、東北地域におけるデザインの創造・活用・保護に対する意識啓発、制度普及を図る。

事業の内容

◎ 対象企業（商品）の公募・選定



東北6県から8企業（8商品）を選定
 ●応募件数：22社25商品
 ●事業説明会参加企業：仙台7社・盛岡3社

◎ 作品の公募



全国のデザイナーから作品を公募
 ●ヒアリングシート・映像で企業（商品）を紹介
 ●応募点数：375点

◎ 審査



審査委員7名（各商品の参加企業1名、外部審査委員5名、東北経済産業局1名）が投票とディスカッションにより審査。
 ●優秀賞：8点（内1点グランプリ）
 ●奨励賞：16点
 ●学生優秀賞：3点
 ●審査委員賞：5点

企業名・商品名	応募点数			入選点数		
	一般	学生	合計	一般	学生	合計
1 カネジン金木屋（黒にんにく）	30	20	50	16	7	23
2 宏八屋（うに缶）	54	30	84	26	9	35
3 武田の笹かまぼこ（宮城のゆず）	31	30	61	18	11	29
4 マリンプロ（チーズほや）	14	12	26	7	7	14
5 弥栄（いぶりがっこ）	16	8	24	8	2	10
6 マルハ産業（通のカレー）	25	36	61	13	6	19
7 長門屋本店（ふくれせんべい）	18	24	42	11	10	21
8 米夢の郷（雑穀米）	11	16	27	6	6	12
合計	199	176	375	105	58	163



優秀賞8点

④ 表彰式・フォーラム・交流会



仙台市において表彰式・フォーラム・交流会を開催。合計110名が出席。
 ●表彰式：受賞者にトロフィーや賞状の授与
 ●基調講演：「クライアントとデザイン」小坂橋基希氏
 ●講評：加藤審査委員長・左合審査委員 ●成果報告：(株)水沢米菓

⑤ 展示会



仙台市において展示会を開催。合計3,000名が来場。
 ●日時：平成29年12月12日（火）～17日（日）10：00～18：00
 ●会場：東北電力グリーンプラザ
 ●展示内容：受賞作品32点、入選作品131点、過年度成果品ほか

⑥ フォローアップ



各企業、優秀賞作品の実用化に向けフォローアップを開催。デザイナーと知財の専門家が出席し、デザインの修正と知財に関する契約条件を協議。
 ●平成29年度中に全企業がデザイナーと契約締結

事業の協力

東北農政局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部、一般社団法人東北経済連合会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、益社団法人日本パッケージデザイン協会、東北電力グリーンプラザ、日刊工業新聞社東北・北海道総局、河北新報社、NHK仙台放送局、東北放送、仙台放送、宮城テレビ放送、東日本放送ほか

事業の成果

- ① 対象商品の多種多様な新パッケージの提案＝デザインの創造
- ② デザインの知財と対価に関する契約締結＝デザインの保護
- ③ 新パッケージによる商品化（8社実用化予定）＝デザインの活用
- ④ デザイナーとの交流による企業のデザインに関する理解向上
- ⑤ 学生の参加および作品評価・授賞による若手人材の育成・教育
- ⑥ 各種メディアへの露出による社会的注目度のアップ
- ⑦ 地域全体へのデザインおよび知的財産の意識啓発